Panasonic

パナソニックコンピューター

AL-N1
取扱説明書





保証書別添付

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

このたびは、パナソニックコンピューター AL-N1シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本書は、本機の基本的な取り扱いについて説明しています。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存し、必要に応じてご利用ください。

この製品にインストールされているソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことがご使用の条件になっております。

この装置は、第二種情報装置（住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。
しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。なお、充電されたバッテリーパックを装着して使用される場合、瞬時電圧低下に対して支障なくお使いいただけます。（詳しくは、本文をご覧ください。）
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **危険**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

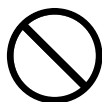
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

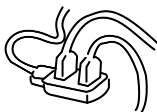
■安全上のご注意は下記の 2 ヵ所に分けて説明しています。

コンピューター本体についての説明は、5～8 ページにて説明しています。
バッテリーパックについては、20、21 ページにて説明しています。

 **警告**

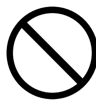
■コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

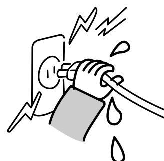




タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で A C アダプターのプラグを抜き差しはしない



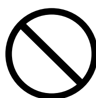


感電の原因になります。

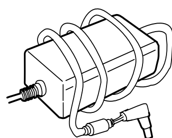
⚠ 警告

■電源コード、ＡＣ アダプターを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



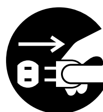
禁止



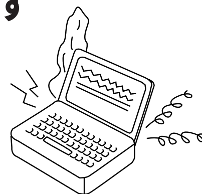
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやアダプターの修理は販売店にご相談ください。

■異常が起きたらすぐにＡＣアダプターとバッテリーパックをはずす



電源プラグを抜く



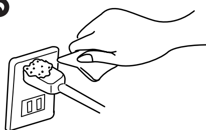
・本体が破損した
・煙が出ている
・異臭がする
・発熱している

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切ってＡＣアダプターとバッテリーパックをはずし、販売店にご相談ください。

■電源プラグのほこり等は定期的にとる





プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き乾いた布でふいてください。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む



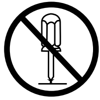


差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災原因になります。

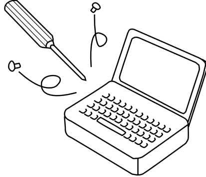
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠ 警告

■本機を分解したり、改造したりしない

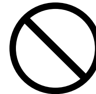


分解禁止

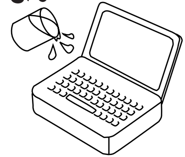


内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また分解・改造は、火災の原因になります。

■本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない



禁止

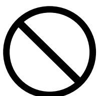


水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

●内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切ってACアダプターとバッテリーパックをはずし、販売店にご相談ください。

⚠ 注意

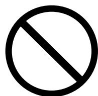
■本機の上に重いものを置かない



禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

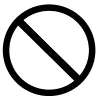
■不安定な場所に置かない



禁止

バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因になります。

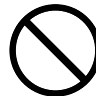
■ヘッドホン使用時に音量を上げすぎない



禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

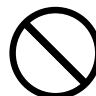
■湿気やほこりの多い場所に置かない



禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■炎天下の車中に長時間放置しない



禁止

高温により、キャビネット等が過熱・変形・溶解する原因になることがあります。

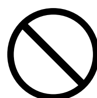
⚠ 注意

■１時間ごとに１０～１５分間の休憩をとる



長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

■ＡＣアダプターを接続したまま移動しない



コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

●コードが傷ついた場合は、すぐにＡＣアダプターをはずして販売店にご相談ください。

■必ず指定のＡＣアダプターを使用する



指定以外のＡＣアダプターを使用すると、発煙の原因になることがあります。

■ＡＣアダプターはプラグ部分を持って抜く



コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

保管・使用場所に関するお願い

・直射日光の当たる場所や、極端に高温または低温の場所に置かない。
・テレビ、ラジオ、無線機のそばで使用しない。
・衝撃、振動のある場所で使用しない。
・強い磁界を発生する装置の近くで使用しない。

持ち運ぶときのお願い

・電源を切って（POWERインジケーターが消灯していることを確認して）から運ぶ。
・紙などをはさんだまま運ばない。
・ディスプレイを開けたまま運ばない。
　ディスプレイを直接持って運ばない。
・落とさない。
・机のカドなど固いものにぶつけない。

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利

お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のフロッピーディスク、マニュアルなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター

本ソフトウェアは、コンピューター１台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更および改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第６条　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等はその責任を負いません。また、この製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第８条　その他

上記第６条のアフターサービスには、付属の「ソフトウェアサポートカード」が必要です。本ソフトウェアのバックアップと併せて大切に保管してください。

各部の名称と働き

前面／側面

LED インジケーター

NumLK/CapsLK/ScrLK インジケーター
機能時：緑色

HDD インジケーター
HDD 動作中：緑色

BATT（Battery）インジケーター A/B
バッテリーパックの充電状態を表示します。（P.35）

POWER インジケーター
電源 ON 時：緑色

空気吹き出し口

使用中温風が出てくることがあります。ふさがないでください。

PC カードスロット

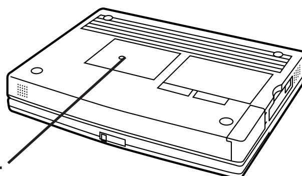
JEIDA 規格に準拠したカード(PCMCIA）をセットします。

バッテリーパック挿入口

ここから、バッテリーパックを装着します。バッテリーパックは、AC アダプターを接続しない場合に本体の電源となります。

リセットスイッチ

コンピューターが動かなくなって操作できなくなったときに、先の細いもので押すと再起動します。



キーボード

クリックボタン

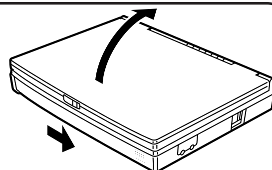
フラットパッドを使って操作するとき、ここを押すとメニューの選択などができます。

オープンラッチ

ここをスライドさせてディスプレイを開けます。

◆ディスプレイを開ける

ディスプレイの手前にあるオープンラッチを右にスライドさせ、ディスプレイを上にあげます。



ディスプレイ

パネルスイッチ

ディスプレイを閉じると、このボタンが押されて、自動的に画面が消えます。ディスプレイを開けると、再び画面が表示されます。(このボタンを手で押しても画面が消えます。)

電源スイッチ (POWER)

本体の電源のON/OFFを切り替えます。

ヘッドホン端子 (PHONES)

市販のオーディオ用モノラルヘッドホン、スピーカーなどを接続します。

内蔵スピーカー

マイクロホン端子 (MIC)

市販のオーディオ用マイクロホンを接続します。

フラットパッド

指を前後左右に移動させると、カーソルがその方向に動きます。

背面

DC-IN Jack **(DC IN15V)**
付属の AC アダプターの DC プラグを接続します。

外部 FDD コネクター
付属の外付けフロッピーディスクドライブを接続します。

シリアルポート **(SERIAL)**
シリアルマウスやモデムを接続します。

パラレルポート **(PARALLEL)**
プリンターなどを接続します。

EXT. DISPLAY コネクター
外部ディスプレイなどを接続します。

赤外線通信ポート
赤外線通信を行うときに使用します。

マウス／外部キーボードコネクター **(MOUSE/KB)**
マウス、キーボードを接続します。

◆お手入れのしかた

- **ディスプレイ部分**
  ガーゼなどの柔らかい布にイソプロピルアルコールやエチルアルコールを十分に浸み込ませて、軽くふきとります。アセトンなどのケトン類やキシレン、トルエンなどの芳香族類の溶剤は使用しないでください。
- **ディスプレイ以外の部分**
  柔らかい布に水または台所用洗剤を含ませて固くしぼってから、やさしくふきとります。ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用するのは避けてください。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ほこりは、掃除機で吸い取るなどして取り除いてください。

キーボード

本機のキーボード配列は、JISに準拠しています。文字入力キー以外にいろいろな機能をもつキーがあります。

テンキー

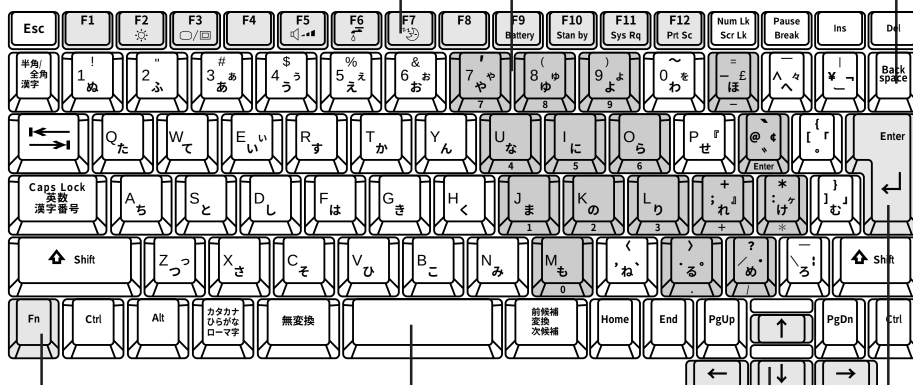
外部キーボードやテンキーパッドが接続されていないときに、[Shift] キーを押しながら[NumLK] キーを押してテンキーを有効にすると、数字が入力できるようになります。

ファンクションキー

使用するソフトウェアによっていろいろな役割を持たせています。

Backspace キー

文字入力のときに使用します。カーソルの左側の文字を消します。



空白（スペース）キー

文字と文字の間に空白（スペース）を入れるときに使用します。

カーソル移動キー

カーソルを動かすときに使用します。

Fn キー

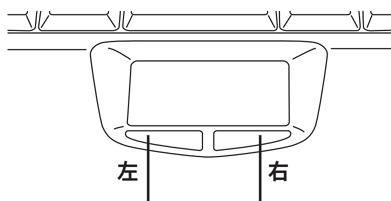
他のキーと組み合わせて押すことによって、特殊な機能を有効にします。(P.36)

Enter（リターン）キー

命令やデータの区切りに押し、入力した情報をコンピューターに伝えます。

フラットパッドとクリックボタン

画面の位置を指定して、コンピューターに命令を与える装置のひとつです。フラットパッドとクリックボタンを組み合わせて使うと、別売りのマウスと同じ働きをさせることができます。Windows やマウス対応のアプリケーションソフト上で、画面上のメニューを選んだり、図形を描いたりすることができます。



フラットパッド

フラットパッド上の指を前後左右に移動させると、カーソルが任意の方向に動きます。

クリックボタン

ここを押すと、メニューの選択などが行えます。

◆基本的な操作

クリック：左または右ボタンを押して離す。また、左ボタンでのクリックは、フラットパッドを１回軽く叩くことでもできます。

ダブルクリック：左または右ボタンを続けて2回すばやく押して離す。また、左ボタンでのダブルクリックは、フラットパッドを続けて2回軽く叩くことでもできます。

ドラッグ：左または右ボタンを押したまま、フラットパッドを操作する。また、左ボタンでのドラッグは、フラットパッドを2回軽く叩き、2回目に叩いたときにそのまま指を移動させ、目的の場所でフラットパッドを１回叩くことでもできます。

キャリブレーション：フラットパッドには廻りの環境に合わせて、感度を調整するキャリブレーション機能が搭載されています。指を静かに5秒間パッド上に置いておくと、ユーザーに最適な感度を自動調整します。

参考

- ●２つのボタンの働きは、使用するアプリケーションソフトによって異なります。通常は左ボタンで動作します。
- ●右ボタンはマウスの右ボタンと同じ働きをします。左ボタンはマウスの左ボタンと同じ働きをします。

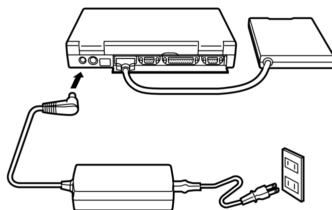
はじめかた・終わりかた

ここでは、電源を入れるまでの手順を説明します。
詳しくは、「セットアップガイド」を参照してください。

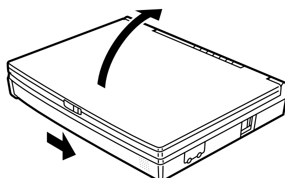
はじめかた

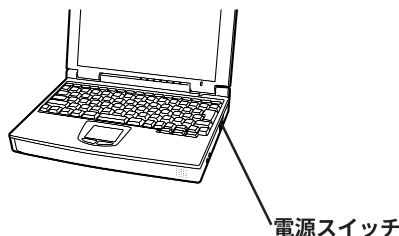
1. AC アダプターを接続する。

付属の専用ACアダプター (品番：AL-AA170) を使用してください。それ以外のACアダプターや市販のカーアダプターなどは絶対に使用しないでください。
コンピューター本体にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。



2. ディスプレイを開けて、電源を入れる（電源スイッチを押す）。





終わりかた

1. 電源を切る（電源スイッチを押す）。

お願い

●電源を切った後、再度電源を入れる場合は、5 秒以上の間隔をあけてください。
● HDD LED, FDD LED の点灯中は、電源を切らないでください。
ハードディスク内あるいはフロッピーディスク内のデータが壊れるおそれがあります。

フロッピーディスクの使い方

フロッピーディスクを使用するときは、付属の外付けフロッピーディスクドライブ(品番：AL-NFFE010J ）を取り付けてください。ここでは、外付けフロッピーディスクドライブの取り付け方と取り外し方について説明します。また、フロッピーディスクの取り扱い方についても説明します。

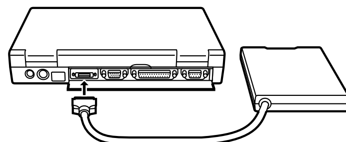
外付けフロッピーディスクドライブの取り付け方

1. 本体の電源を切る。

❶ 動作中のアプリケーションを終了します。
❷ 電源を切ります。電源が切れるのを確認して、AC アダプターを取り外します。

2. 外付けフロッピーディスクドライブを接続する。

本体背面の FDD コネクターに外付けフロッピーディスクドライブのコネクターを接続します。
コネクターの向きに注意して、接続してください。



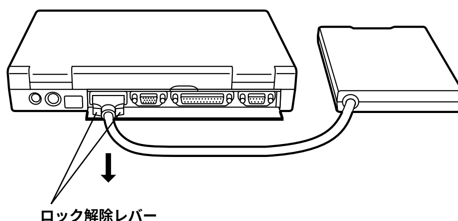
外付けフロッピーディスクドライブの取り外し方

1. 本体の電源を切る。

❶ 動作中のアプリケーションを終了します。
❷ 電源を切ります。電源が切れるのを確認して、AC アダプターを取り外します。

2. 外付けフロッピーディスクドライブを取り外す。

ロック解除レバーを押しながら、フロッピーディスクドライブのコネクターを引き抜きます。

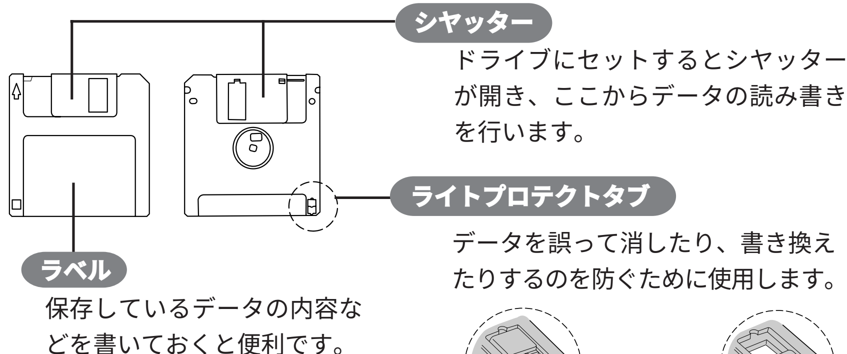


お願い

フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときや保管しておくときには、必ず、中のフロッピーディスクは取り出してください。(P.19)

フロッピーディスクの取り扱い方

◆各部の名称と働き



シヤッター

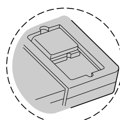
ドライブにセットするとシヤッターが開き、ここからデータの読み書きを行います。

ライトプロテクトタブ

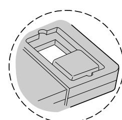
データを誤って消したり、書き換えたりするのを防ぐために使用します。

ラベル

保存しているデータの内容などを書いておくと便利です。



書き込み可能な状態

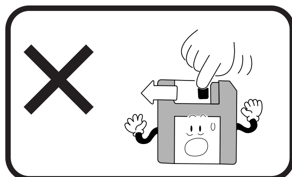


書き込み禁止の状態

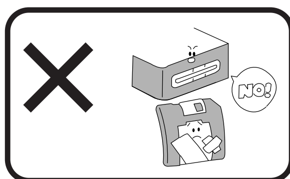
◆取り扱い上のお願い

下記のような取り扱いをすると、記録したデータが壊れたり、フロッピーディスクが取り出せなくなることがあります。

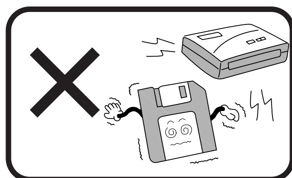
こんなことはしないでください



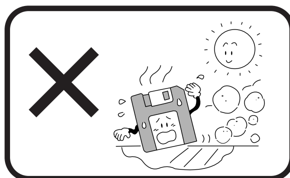
シャッターを手で開ける。



ラベルを重ねてはる。



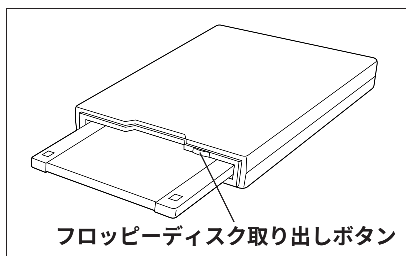
磁気ネックレスやヘッドホンステレオなど、磁気を帯びたものを近づける。



高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管する。

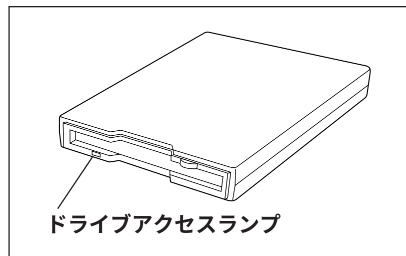
◆フロッピーディスクのセット／取り出し

セットする



フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入します。

取り出す



ドライブアクセスランプが点灯していないことを確認した後、フロッピーディスク取り出しボタンを押して取り出します。

お願い

ドライブアクセスランプの点灯中はフロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れるおそれがあります。

参考

●「読み出し」・「書き込み」とは

フロッピーディスクのデータを本体のメモリー上に送ることを「読み出し」、メモリー上のデータをフロッピーディスクに送り、記録することを「書き込み」といいます。

●フォーマット

新しいディスクは、磁気的に区画整理する必要があります。この作業を「フォーマット」（初期化）といいます。

●使用できるフロッピーディスクの種類と記憶容量

フロッピーディスクには「2HD」と「2DD」の２種類があります。それぞれの記憶容量は次のとおりです。

2HD ――1.44M バイト／ 1.2M バイト
2DD ―― 720K バイト

●バックアップ

ハードディスクに蓄えられたデータは、操作の誤りなどで壊されることがあります。そのような場合に備えて、データのバックアップ（ファイルの複製）をしておいてください。

バッテリーパックの使い方

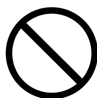
AC アダプターを接続しない場合、本体の電源になるのがバッテリーパックです。室外で、または、持ち運んで使用するときに便利です。お買い上げ時には、バッテリーパックは装着されていません。以下の手順に従って取り付けてください。
また、長期間本体を使わない場合は、バッテリーパックを取り外しておくことをお勧めします。

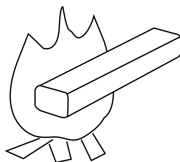
お願い

サスペンド中に AC アダプターとバッテリーパックの両方ともを抜くと、データが失われますのでご注意ください。(P.45)

⚠危険　バッテリーパックに関する注意

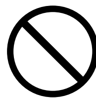
■火中に投入したり加熱したりしない

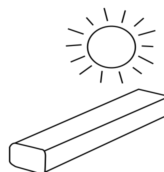




発熱・発火・破裂の原因になります。

■火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない



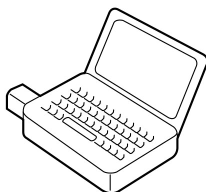


発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠危険 バッテリーパックに関する注意

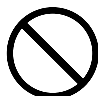
■指定された方法で充電する



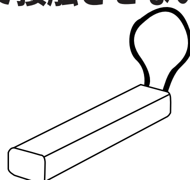


取扱説明書に記載された方法で充電しないと、発熱・発火・破裂の原因になります。

■プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

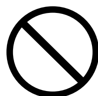


禁止

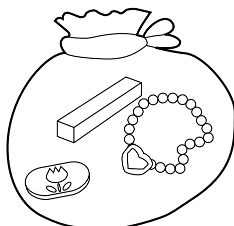


発熱・発火・破裂の原因になります。

■ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

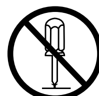


禁止

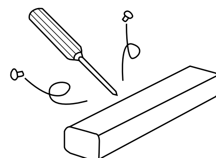


発熱・発火・破裂の原因になります。

■クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない



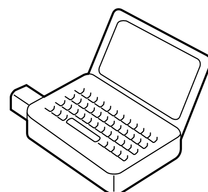
分解禁止



発熱・発火・破裂の原因になります。

■付属の充電式電池は必ず本機で使用する



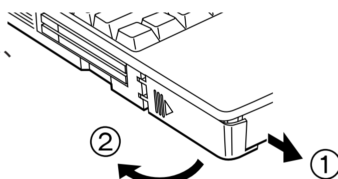


本機専用の充電式電池です。
本機以外に使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

取り付け方

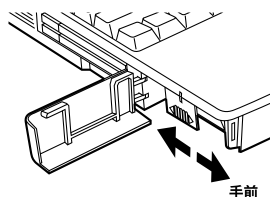
1. バッテリーのフタを開ける。

①バッテリーのフタを矢印の方向へ引き出し、
②バッテリーのフタを回転させて開けます。



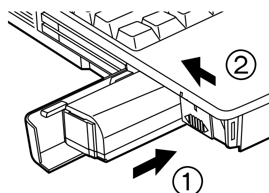
2. バッテリーのロックを解除する。

バッテリーパック A を挿入する時は、バッテリーのロックを手前の方向へ、バッテリーパック B を挿入する時は、バッテリーのロックを奥の方向へ移動させます。



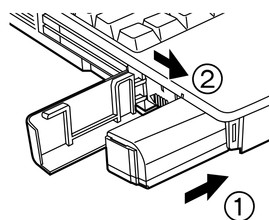
3. バッテリーパックを挿入して、ロックする。

①バッテリーパック A または B を挿入します。
②中央位置マーク（╋）が合うまで矢印の方向へバッテリーのロックを移動します。
挿入口の奥にはバネがついていますので、バッテリーパックを奥へ少し押すようにしながら、ロックしてください。

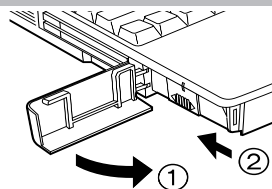


お願い

力任せに押し込まないでください。また、本機を縦にした状態で、挿入しないでください。

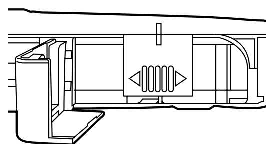


4. バッテリーのフタを閉める。



① バッテリーのフタを回転させて
② 矢印の方向へ移動させます。

お願い



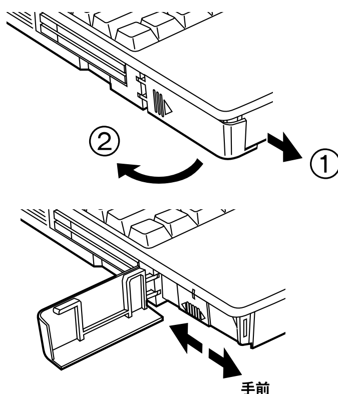
バッテリーパックのフタを閉めるときはバッテリーのロックを中央の位置に合わせてください。
ロックの位置が中央からずれたままフタを無理に閉めるとフタが破損する恐れがあります。

取り外し方

1. 本体の電源を切る。

どちらか片方に充電済みのバッテリーパックを残す場合は、本体の電源を切る必要はありません。

2. バッテリーのフタを開ける。



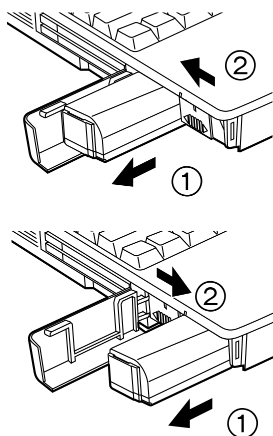
① バッテリー のフタを矢印の方向へ引き出し
② バッテリーのフタを回転させて開けます。

3. バッテリーのロックを解除する。

バッテリーパック A を取り外す時は、バッテリーのロックを手前の方向へ、バッテリーパック B を取り外すときは、バッテリーのロックを奥の方向へ移動させます。

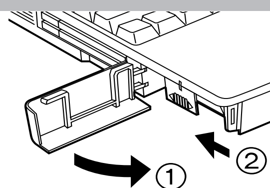
バッテリーパックが少し飛び出します。

4. バッテリーパックを引き出す。



① バッテリー パック A または B を引き出し
② バッテリー パックのロックを中央へ移動させます。

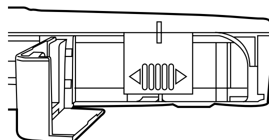
5. バッテリーのフタを閉める。



① バッテリーのフタを回転させて
② 矢印の方向へ移動させます。

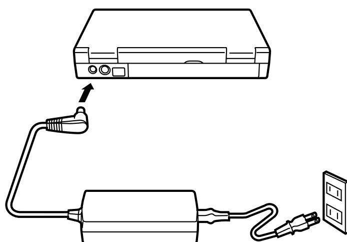
お願い

バッテリーのフタを閉めるときは。バッテリーのロックを中央の位置に合わせてください。
ロックの位置が中央からずれたままフタを無理に閉めるとフタが破損する恐れがあります。



充電のしかた

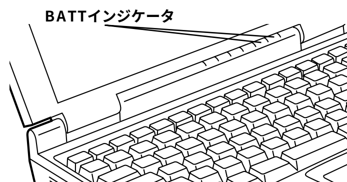
付属のバッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。はじめて使用するときは、必ず充電してください。
充電は、コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態で行います。



1. AC アダプターを接続する。

充電が始まります。充電中は、挿入されているバッテリーパックのBATTインジケーターがオレンジ色に点灯します。

2. 充電状態を確認する。



充電が済んだバッテリーパックの、BATTインジケーターが緑色に点灯します。(P.35)
バッテリーパックの状態により、同時に終了しないことがありますが、故障ではありません。

◆**充電時間**（使用条件により異なります。）

電源が入っているとき	約 10 時間
電源が切れているとき	約　3 時間

参考

電源が切れている状態でも、約 80 mW の電力を消費します。従って、バッテリーパック 2 本を満充電にしていても約 14 日間で放電してしまいます。再度、充電してからお使いください。

バッテリーの消耗

バッテリーが消耗すると、両方（1本だけ使用している場合は片方）のBATTインジケーターが赤く点灯し、ピーピーと音が鳴ります。その場合は、すぐに AC アダプターを接続してください。
すぐに AC アダプターを接続できないときは、動作中のプログラムを終了させて電源を切ってください。その後、AC アダプターを接続して、充電してからお使いください。

カードのセット

使用できるカードは、RAM モジュールと PC（PCMCIA）カードの２種類です。それぞれ専用のスロットにセットします。

◆セット／取り出しを行う前に

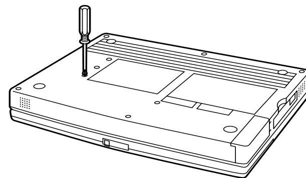
1. データを保存します。
2. 本体の電源を切る。
3. 電源が切れたことを確認して、AC アダプターを取り外す。
4. （RAM モジュールのセット／取り出しを行うときのみ）
   バッテリーパックを取り外す。（P.24 ）

RAM モジュール

RAM モジュールを増設すると、メモリーを拡張することができます。(P.51)
8M バイト（品番：AL-NFMB080J）と 16M バイト（品番：AL-NFMB160J）の２種類の RAM モジュールを増設することができます。
上記で指定している品番以外のものは使用できませんので、ご注意ください。

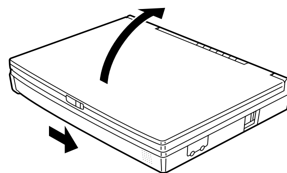
1. 本体裏面のネジを取り外す。

小型のプラスドライバーで本体裏面のキーボード固定ネジを 1ヵ所取り外す。



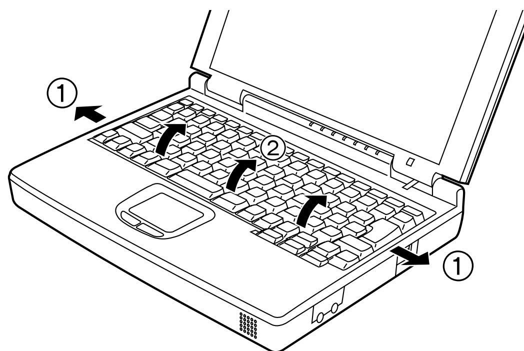
お願い

本体裏面には、多数のネジがありますので、ネジの位置に注意してください。



2. ディスプレイを開ける。

3. キーボードパネルを開ける。

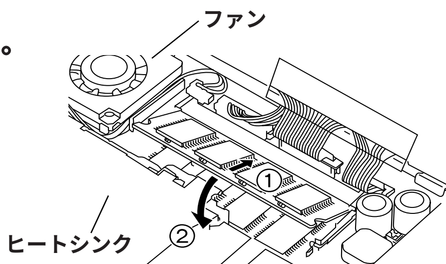


① ラッチが左右2か所にあります。キーボード左右のキャビネットを矢印の方向に押し開いて、ラッチの押えを外しながら、
② 図のようにキーボードパネルを開けます。

お願い

キーボードパネルを、ディスプレイ側に無理に押し倒さないでください。パネルの支軸が破損する恐れがあります。

4. RAM モジュールをセットする／取り出す。



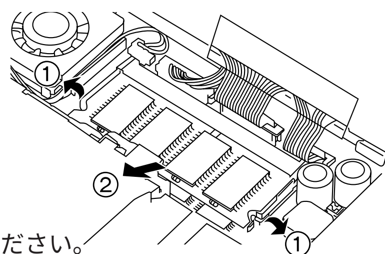
セットする

① ソケットのミゾに合わせて、斜め上方からしっかり差し込みます。
② 矢印の方向に軽く押して、はめ込みます。フックがかかり、ロックされていることを確認してください。

お願い

- 向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。
- ヒートシンクとファン、および RAM モジュールソケットのフックは、高温になっています。電源を切ってから、1 時間以上経過後に取り付けを行ってください。

取り出す



① 両側のフックを開いて、ロックを外します。
② 矢印の方向に、引き抜きます。

5. キーボードパネルを閉じる。

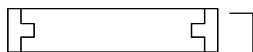
2 か所のラッチがかかるように、しっかりと閉じてください。

6. 本体裏面のネジを締める。

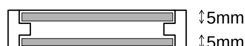
ディスプレイを閉じて本体を裏返し、小型のプラスドライバーでキーボード固定ネジを締めます。

PC（PCMCIA）カード

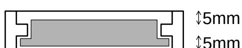
PC (PCMCIA) カードとは、JEIDA規格に準拠したカードのことをいいます。モデムカード、IC メモリーカード、LAN カード、サウンドカードおよび 1.8 インチ HDD などがあります。



PC カードスロット



タイプ I とタイプ II（厚さが 5mm を越えないもの）は、上段スロット／下段スロットのどちらでもセットすることができます。また、2 段両方にセットすることもできます。



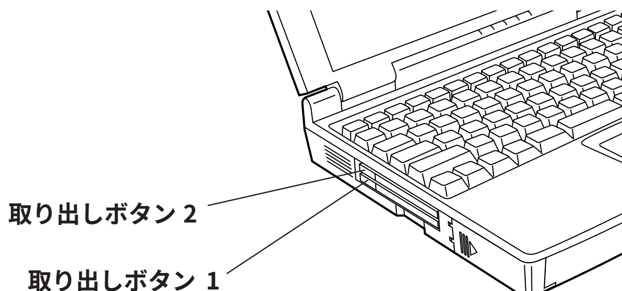
タイプ III（1.8 インチ HDD など）は、下段スロットにセットしてください。

お願い

ご使用の前に、必ず、PC カードの消費電流を確認してください。PC カードスロットの許容電流を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
許容電流については、「本体仕様」（セットアップガイド）を参照してください。

◆セットのしかた／取り出し方

下段のカードのセット／取り出しには、取り出しボタン 1 を、
上段のカードのセット／取り出しには、取り出しボタン 2 を使います。

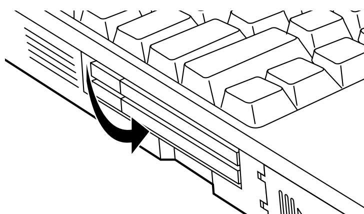


以降に、セットのしかたと取り出し方について説明します。

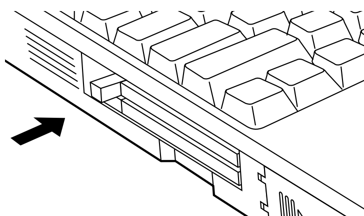
1. カードを取り出す。

ご購入時には、ダミーカード*がセットされています。PC カードをセットするときは、まず、ダミーカードを取り出してください。

①取り出しボタンの折れ曲がり部分を伸ばす。

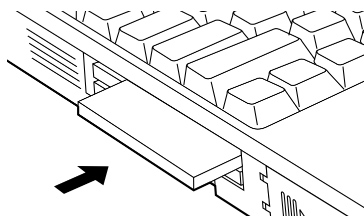


② 取り出しボタンを押す。
カードが少し出てきますので、取り出してください。

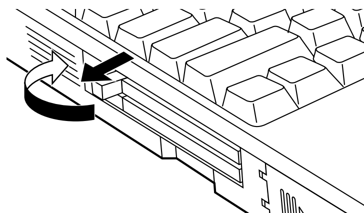


2. カードをセットする。

①カードを PC カードスロットにしっかりと差し込む。
取り出しボタンが飛び出ます。



②取り出しボタンを完全に引き出してから、折り曲げる。



お願い

＊ダミーカードとは、ほこりや異物が入らないように、仮にセットしておくカードのことです。PC カードをセットしないときは、必ず、ダミーカードをセットしておいてください。

周辺機器の接続

接続および取り外しの前に、必ず本体と機器の電源を切ってください。接続後は、しっかりと接続されていることを確認してください。

マウス／外部キーボードコネクター
IBM PS/2 タイプのマウス、または外部キーボードを接続することができます。

シリアルポート
シリアルマウスやモデムを接続します。

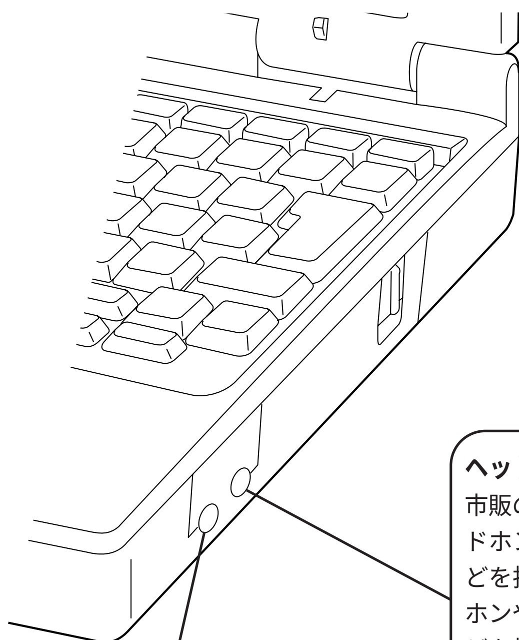
赤外線通信ポート
赤外線通信を行うときに使用します。

パラレルポート
プリンターなどを接続します。

DC-IN Jack (DC IN15V)
付属の AC アダプターの DC プラグを接続します。

EXT.DISPLAY コネクター
外部ディスプレイなどを接続します。

FDD コネクター
付属の外付けフロッピーディスクドライブを接続します。



ヘッドホン端子（PHONES）
市販のオーディオ用モノラルヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ステレオヘッドホンやステレオ用のスピーカーなどを接続すると、左側からだけ音声が出力されます。
ヘッドホンまたはスピーカーを接続している場合は、内蔵スピーカーから音声は出力されません。

マイクロホン端子（MIC）
市販のモノラル・ダイナミックマイクロホンのミニジャックタイプを接続します。

お願い

- 各コネクターへプラグが接続されている状態のときは、ディスプレイを後ろまでいっぱいに開かないでください。ディスプレイ背面とプラグが接触して、損傷の原因となります。
- 後面のカバーは開き過ぎないように（水平位置以上は開けないように）してください。取り付け部が破損するおそれがあります。
- モノラル・ダイナミックマイクロホン以外のマイクロホンをご使用になると、音が入力できなかったり、故障の原因になる場合があります。

バッテリーの上手な使い方

バッテリーの種類

●バッテリーパック
本体内蔵用の充電式のバッテリーパックです。本体には、2本内蔵できます。
AC アダプターを使わないときは、このバッテリーから電源が供給されます。
●クロックバッテリー
時計を動かし、初期環境などの設定内容を保持するためのバッテリーで、本体に内蔵されています。

使用温度についてのお知らせ

●本体は、使用環境温度５～３５℃の範囲で操作してください。
使用環境温度が低い場合、バッテリーの駆動時間が短くなります。
●高温、または低温の状態で充電すると、バッテリーの充電容量が低下します。
●通常の放電時にあたたかくなることがありますが、異常ではありません。
●バッテリーの性能を維持するために、バッテリーパックの温度が５～４５℃の範囲外の場合は、充電が行われません。
範囲外なのに充電しようとした場合は、BATTインジケーターがオレンジ色に点滅して、範囲外であることを知らせます。

このようなときは、温度を範囲内に戻してから、再度、充電を始めてください。

充電についてのお願い

●出荷時には、バッテリーパックは充電されていません。ご使用前に、必ず充電してください。ＡＣアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。
●充電中に、ACアダプターを抜くことは避けてください。充電が完了してから抜くようにしてください。
●他のコンピューター内や他の充電器では充電しないでください。
●充電中、BATTインジケーターが赤色に点滅した場合は、内部の保護回路が働き、充電が中止された可能性があります。このような場合は、いったん、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、再度、取り付けてください。また、このような現象が繰り返し起こる場合は、故障ということが考えられますので、「販売店」にご相談ください。

●バッテリーパックを長期間放置していた場合は、使用前に必ず充電してください。この場合、通常の時間で充電が終了しないことがありますが、故障ではありません。
●バッテリーパックの着脱を何度も繰り返し、その度に充電を行うと、過充電となり熱を発生します。バッテリーパックの劣化の原因となりますのでやめてください。
●バッテリーパックは消耗品です。バッテリーの駆動時間が著しく短くなり、充電を何度繰り返しても性能が回復しない場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいものと交換してください。

取り扱い上のお願い

「安全上のご注意」（P.20～21 ）に記載の注意事項をよく読み、取り扱ってください。
加えて、以下の点にもご注意ください。

●交換用のバッテリーパックをポケットやカバンに入れて持ち運ぶときは、端子部分がショートするのを防ぐために、ビニール袋に入れることをお勧めします。
●水や海水などをかけないでください。端子がさびる原因となります。
●端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。端子が汚れたときは、乾いた布、綿棒などでふいてください。
●万一、破損によって電解液が流出し、皮膚や衣服に付いた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

放電制御の種類

●バッテリー放電制御において、二つのモードが選択できます。本体のバッテリー動作時間を長くするためにパラレル（バッテリー放電制御）と省電力（CPUスピード）（P. 49）を選択されることをお進めします。放電方式の特徴と用途は下記のようになっています。

バッテリー放電制御	特徴と用途
パラレル	AとBバッテリーを同時に使って動作します。シリアル放電よりバッテリーに対する負荷が小さいので、同じ2本のバッテリーを使用して本体を動作させる場合は、この方式の方がバッテリー動作時間が若干長くなります。
シリアル	2本のバッテリーの内、Aバッテリーを使って動作します。Aバッテリーが消耗した後Bバッテリーへ自動的に切替わり、本体は動作しつづけます。この設定の場合には、交換用のバッテリーを本体の電源を切らずに交換することができます。

●工場出荷状態は、パラレルに設定されています。

バッテリー残量の確認

バッテリーの残量を確認する方法は、次のとおりです。
・PopUp アイコン及び BATT インジケーターで確認する

◆ BATT インジケーターで確認する

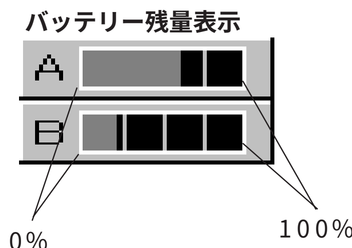
BATT インジケーターの状態	充電状態
オレンジ色に点灯	**充電中**
緑色に点灯	**充電完了**
赤色に点灯	**バッテリー残量なし** 充電が必要です。同時にアラームが鳴ります。 早急に AC アダプターを接続してください。 AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows も終了して POWER インジケーターが消えているのを確認してください。（使用条件により異なります。）
オレンジ色に点滅	充電できない バッテリーパックの温度が5〜45℃の範囲外にあるため、充電できません。充電可能な温度に戻してから、再度、充電を始めてください。
赤色に点滅	バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。AC アダプターとバッテリーパックを取り外して再度正しく装着し直してください。それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」にご相談ください。

◆バッテリー残量の少ない場合

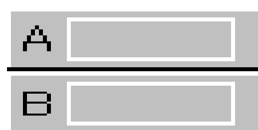
・バッテリー残量がなくなると（2 本時 2ヶの LED が点灯）CPU スピードは、設定にかかわらず「省電力」になります。
・パワースイッチ設定を「サスペンド」にした場合、バッテリー残量がなくなるとサスペンド状態になります。この状態の時は、ACアダプタを接続してリジュームさせてください。
・パワースイッチ設定を「ハイバネーション」にした場合、バッテリー残量がなくなるとハイバネーション状態になります。この状態の時は AC アダプタを接続してリジュームさせてください。

◆ PopUp アイコンで確認する

[Fn] キーを押しながら [F9] キーを押して手を離すと、しばらくの間下図のように画面上にバッテリーの残量を示すアイコンが表示されます。



バッテリー残量表示（バッテリーが入っていない時）



お願い

バッテリーパックを交換したり、バッテリーパックを装着したまま長期間使用しなかった場合、またコンピューターを起動した直後 (Windows が起動するまで) は、バッテリー残量を認識できなかったり、正確に表示できないことがあります。残量を認識できない場合、画面上のアイコン表示は「？」表示となります。そのような場合は、バッテリーを満充電状態にすると、残量が認識できるようになります。

キーボードの操作

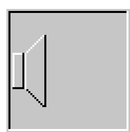
キーコンビネーション

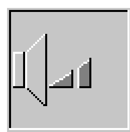
[Fn] キーを押しながら下記のキーを押すことによって、特殊機能が有効になります。この操作を「ホットキー」と呼びます。

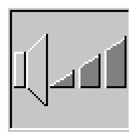
[F 2] LCD バックライトの輝度を切り替えます。キーを押すごとに（高輝度→通常→高輝度）の順に輝度が切り替わります。

[F 3] 画面表示の表示先を切り替えます。キーを押すごとに（外部モニター→内部LCD→同時表示→外部モニター）の順に表示先が切り替わります。

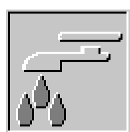
[F 5]　内蔵スピーカーボリュームを変更します。キーを押すごとに（スピーカーオフ→音量小→音量大→スピーカーオフ）の順にボリュームが切り替わります。この変更の状態は、下図のように画面上にアイコン表示されます。

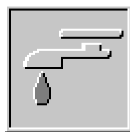

スピーカーオフ

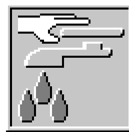

音量小


音量大

[F 6]　省電力設定モードを切り替えます。キーを押すごとに（標準モード→省電力モード→ユーザー設定モード→標準モード）の順に省電力設定モードを切り替えます。この変更の状態は、下図のように画面にアイコン表示されます。


標準モード


省電力モード


ユーザー設定モード

[F 7]　SETUPプログラムの「省電力設定」で「ホットキーハイバーネーション」キーを有効に設定している場合に、ハイバーネーション機能*1が働きます。SETUP プログラムの「省電力設定」で「パワースイッチ」を「ON-OFF」や「サスペンド」に設定していても、ハイバーネーション機能が働きます。

[F 9]　バッテリーの充電状況が、画面上にアイコン表示されます。（詳しくは「バッテリー残量の確認」を参照してください。）

[F 10]　省電力のため、ハードディスクドライブモーター、LCD、バックライトの電源を切ります。任意のキーを押すと、LCDとバックライトの電源が入ります。ハードディスクへのアクセスがあれば、ハードディスクドライブモーターの電源が入ります。

Power スイッチ　サスペンド／リジューム機能*2またはハイバーネーション機能が有効であっても、サスペンドやハイバーネーションせずに電源を切ります。使用中のデータを保存し、Windowsを終了した状態で使ってください。

参考

＊1 ハイバーネーション機能

ハードディスクに電源を切る前の状態が保存され、次回電源を入れたときに、すぐに切る前の状態に戻ることができる便利な機能です。

＊2 サスペンド／リジューム機能

ハイバーネーション機能とほぼ同じ役割をします。ただし、ハイバーネーション機能では、電源を切る前の動作状態をハードディスクに保存しますが、サスペンド／リジューム機能ではメモリーに保存するだけです。従って、ACアダプターもしくはバッテリーパックのどちらかが装着されていないと、この機能は働きません。

詳しくは、「省電力設定」(P.45) を参照してください。

お願い

・システム起動中、あるいはサスペンド／リジュームやハイバーネーション処理を実行中はホットキーは使用できません。
・高速なシリアル通信中などにホットキーを使用すると、通信エラーになることがあります。通信中はホットキーを使用しないでください。

特殊キー

[Esc] アプリケーションソフトによって機能が異なります。

[ScrLK] アプリケーションソフトによって機能が異なります。

[NumLK] [Shift] キーを押しながら押して、テンキーを有効にするかどうかを切り替えます。有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。
NumLK インジケーター点灯時：テンキー有効
この状態で [Fn] キーを押しながら入力すると、テンキー無効になります。
NumLK インジケーター消灯時：テンキー無効
この状態で [Fn] キーを押しながら入力すると、カーソルや画面の移動キーとして使用できます。

[Pause/Break] プログラムの実行を中断します。続行する場合は、任意のキーを押してください。[Ctrl] キーを押しながら押した場合は、プログラムの実行を中止します。

[CapsLock/ 英数] 英数字入力になります。[Shift] キーを押しながら押した場合は、CapsLock 状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。CapsLock 状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、[Shift] キーを押しながらアルファベットキーを押すと、小文字入力になります。

[Enter] コンピューターに対して、コマンドやデータが入力されます。

[Shift] 通常、このキーとともにアルファベットキーが押されると、大文字入力になります。また、このキーとともに数字キーか特殊キーが押されると、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。

[Ctrl] 他のキーと同時に押した場合は、特殊機能が有効になります。他の特殊キーと同時に押した場合は、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

[Alt] 他のキーと同時に押した場合は、特殊機能が有効になります。他の特殊キーと同時に押した場合は、アプリケーションソフトによって機能が異なります。

環境の設定

動作環境を設定する

ユーティリティープログラム WSETUPN1（以下本文では SETUP と呼びます）でコンピューターの動作環境を設定します。以下の環境設定ができます。

＜システム設定＞

シリアルポートやパラレルポートのI/Oアドレス、IrDA（赤外線通信）ポートのI/Oアドレス、データ転送方向、使用するマウスのタイプなどの設定ができます。
データ等を保護するためのパスワード機能の有無やコンピューター起動時の起動ドライブなどを設定できます。

＜ビデオ設定＞

外部モニターを接続している時には、外部モニターと内部LCDとの画面表示の切り替えができます。また、ディスプレイのスクリーンサイズを設定できます。

＜省電力設定＞

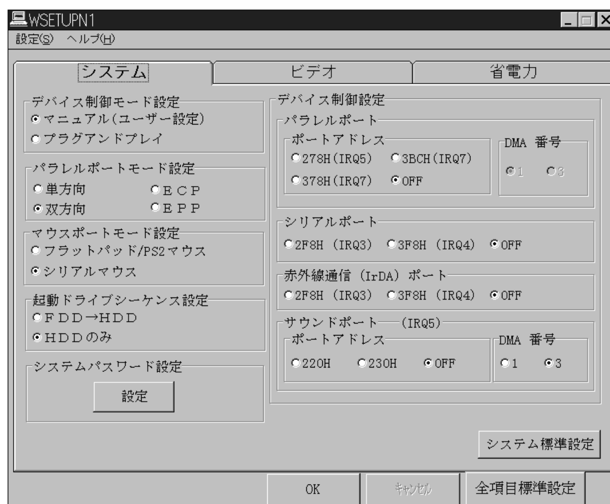
無駄に電気を消費しないようにコンピューターを制御します。

＜標準設定＞

全項目を標準の設定にします

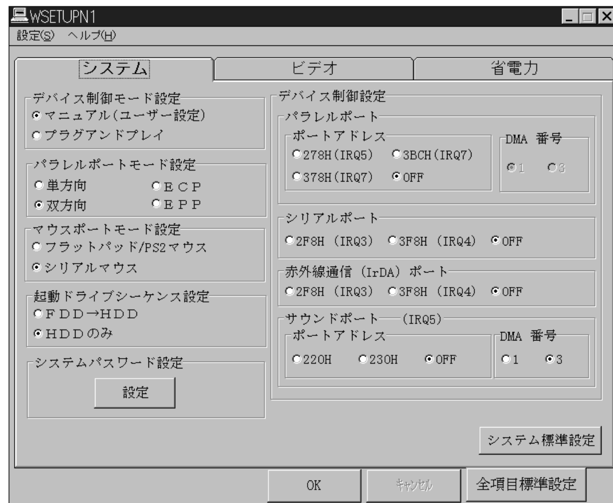
◆ SETUP プログラムを起動する

WSETUPN1 プログラムを起動すると、以下の画面が表示されます。



◆システム設定

［システム］タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。



各項目にポインタを合わせて左ボタンでクリックすると、選択された項目にマークがついたり、カーソルが表示されます。

デバイス制御モード設定

デバイス制御の方式を、ユーザー自身で設定するか、オペレーティングシステム（Windows95）の設定に従うかの選択を行います。「マニュアル（ユーザー設定）」を選択した場合、パラレル、シリアル、赤外線通信（IrDA）、サウンドの各ポートの詳細設定をユーザー自身で設定することができます。「プラグアンドプレイ」を選択した場合、パラレル、シリアル、赤外線、サウンドの各ポートの設定は、Windows95のデバイスマネージャーの設定に従います。
標準設定は、「マニュアル（ユーザー設定）」です。
（Windows3.1モデルでは、この項目はありません）

パラレルポート制御モード設定

パラレルポートのデータ転送方向を割り当てます。「単方向」、「双方向」、「EPP」、「ECP」から選択します。標準設定は、「双方向」です。
また、「EPP」、「ECP」の設定は、「パラレルポートアドレス」の設定が「278」、「378」の時のみ設定可能です。

マウスポート制御モード設定

使いたいマウス種類を割り当てます。「フラットパッド／PS2マウス」、「シリアルマウス」から選択します。「フラットパッド／PS2 マウス」は、フラットパッドか PS/2 タイプの外部マウスを使用する場合で、「シリアルマウス」は、マウスをシリアルポートに接続して使用する場合に選択します。標準設定は「フラットパッド／ PS2 マウス」です。「シリアルマウス」を選択する場合は、「シリアルポート」の設定を「3F8（IRQ4）」または「2F8（IRQ3）」に設定してください。

起動ドライブシーケンス設定

起動ドライブシーケンスを割り当てます。「FDD → HDD」、「HDD のみ」から選択します。「HDD のみ」を選択すると必ずハードディスクから起動します。「FDD → HDD」を選択すると、起動用フロッピーディスクが装着されていればフロッピーディスクドライブから起動します。フロッピーディスクが装着されていなければハードディスクから起動します。標準設定は、「FDD → HDD」です。

システムパスワード設定

コンピューターを起動する際のパスワードを設定します。「設定」ボタンを押すと、「システムパスワード」のダイアログボックスが表示されます。システムパスワード機能を「有効」、「変更」、「無効」のいずれかに設定します。出荷時は「無効」に設定されています。システムパスワードが登録されていない場合、「変更」項目は表示されません。

パラレルポートアドレス設定

パラレルポートのアドレスを割り当てます。「278（1RQ5）」、「3BC（IRQ7）」、「378（IRQ7）」、「OFF」から選択します。標準設定は「378（IRQ7）」です。「278（IRQ5）」を選択した場合、IRQ 番号は 5 に設定されると同時に、サウンドポートの IRQ 番号が 9 に設定されます。この時、確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。

パラレルポートDMA 設定

パラレルポートの DMA 番号を割り当てます。「1」、「3」から選択します。
標準設定は、「3」です。DMA 番号の設定は、「パラレルポートモード設定」が「ECP」のときのみ、設定可能です。
（Windows3.1 モデルでは、この項目はありません）

シリアルポートアドレス設定

シリアルポートのアドレスを割り当てます。「3F8（IRQ4）」、「2F8（IRQ3）」、「OFF」から選択します。標準設定は「3F8（IRQ4）」です。

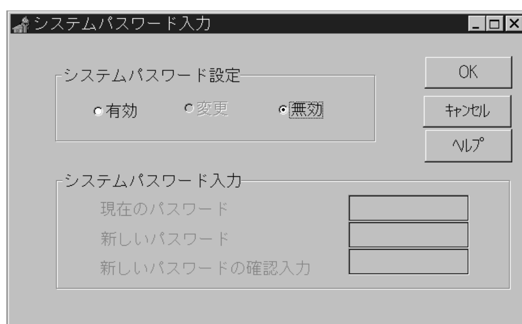
赤外線通信（IrDA）ポートアドレス設定
赤外線通信（IrDA）のポートアドレスを割り当てます。「3F8（IRQ4)」、「2F8（IRQ3)」、「OFF」から選択します。標準設定は「2F8（IRQ3)」です。

サウンドポートアドレス設定
サウンドポートのアドレスを割り当てます。「220」、「230」、「OFF」から選択します。標準設定は「220」です。
（Windows3.1 モデルでは、「230」はありません）

サウンドポートDMA 設定
サウンドポートのDMA番号を割り当てます。「1」、「3」から選択します。標準設定は「1」です。
（Windows3.1 モデルでは、この項目はありません）

＜パスワードの登録と変更の手順＞

「システム」の画面で［設定］ボタンを押してください。「システムパスワード入力」のダイアログボックスが表示されます。「有効」または「変更」を選択して、以下の手順に従って、パスワードを登録してください。



変更の場合

1. **「変更」を選択して、現在のシステムパスワードを入力する枠にカーソルを移動し、現在登録されているパスワードを入力する。**

2. **新しいシステムパスワードを入力する枠にカーソルを移動し、新しいパスワード（７文字以内）入力する。**

お願い

コントロールキー、カーソルキー、特殊キー、ファンクションキー、タブキー、スペースキー、バックスペースキーは、パスワードとして使用できません。
また、キーボード・コネクターに外部キーボードを接続しているときでも内部キーボードを使って入力してください。

3. 新しいシステムパスワードを再入力する枠にカーソルを移動し、再度システムパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックする。

手順 2 で入力したパスワードを再度、入力します。パスワードが合致すれば、SETUP のセキュリティー設定画面が再び表示されます。
再度入力したパスワードが最初のパスワードと異なっていた場合、次のメッセージが表示されます。

新しいパスワードと再度入力したパスワードが一致しません．
再度，入力しますか．

[はい] をクリックすると、システムパスワードを設定する画面が表示されます。もう一度操作してください。
[いいえ] をクリックすると、「システムパスワード入力」ダイアログボックスに戻ります。

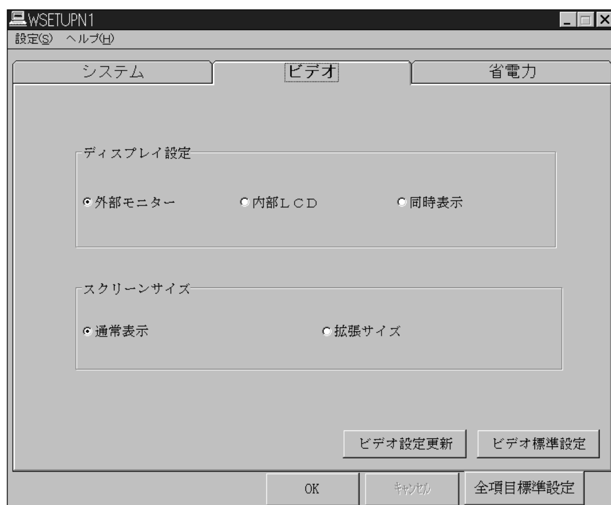
お願い

設定したパスワードは、手帳などにメモしておくことをお勧めします。
また、入力の際は、オペレーティングシステムの日本語入力モードを終了してから入力してください。
電源の ON/OFF やリセットを行ったり、サスペンド／リジューム機能を使用した場合にパスワードの入力が必要になります。

（Window3.1 モデルでは、この項目はありません）

◆ビデオ設定

［ビデオ］タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。



参考

マウス操作は、「システム設定」の場合と同じです。

各項目の設定方法を以下に説明します。

1. ディスプレイ

起動時に使用するディスプレイを指定します。
「内部LCD」､「外部モニター」､「同時表示」の中から選択します。
標準設定は「外部モニター」です。

内部 LCD を使用する場合、「内部 LCD」を指定します。外部モニターを使用する場合、「外部モニター」を指定します。内部 LCD と外部モニターの両方を使用する場合､「同時表示」を指定します。

参考

起動時に外部モニターが接続されていない場合は､「ディスプレイ」が「外部モニター」に設定されていても、内部 LCD に情報を出力します。

2. スクリーンサイズ
（LCD 英語テキストモード時の設定）

LCD モードの画面の大きさを指定します。「拡張サイズ」（19 ドット / テキスト）か「通常表示」（16 ドット / テキスト）かを指定します。標準設定は「通常表示」です。

◆省電力設定

<サスペンド／リジューム機能とは>

電源を切った後、再度電源を入れたときに、電源が切れる前の状態に戻すことができる便利な機能です。この機能により、中断した操作をすぐに再開することができます。
ただし、バッテリーパックもしくはACアダプターのどちらかが装着されていないと、この機能は働きません。

<ハイバーネーション機能とは>

電源を切る前の状態がハードディスクに保存され、次回、電源を入れたときに、切る前の状態にすぐに戻ることができる機能です。
サスペンド／リジューム機能との違いは、メモリー上のデータが、いったんハードディスクに保存されることです。電源の供給がなくてもデータを保持することができるので、ハイバーネーション機能を有効にして電源スイッチを切った後、バッテリーパックとACアダプターの両方を取り外しても、次回、電源を入れたときには元の状態に戻ることができます。

サスペンド／リジューム機能やハイバーネーション機能を使うと、以下のようなことが行えます。
・アプリケーションプログラムを使っているとき、アプリケーションプログラムから抜けなくても、単に電源を切ったり入れたりするだけでプログラムを中断させたり、再開させたりできます。
・SETUP プログラムで、「サスペンド／ハイバーネーションタイムアウト」の時間間隔を設定していると、一定時間コンピューターを触らなかった場合に自動的に電源を切って、電力の消費を抑えます。再度、電源を入れたときには切る前の状態に戻ります。

お願い

●バッテリーパックのみでサスペンド／リジュームを行うと、本体の電源を入れても、電源が切れる前の状態に戻らないことがあります。ACアダプターをつなぐか、十分充電してから、電源を入れてください。
●システムパスワードが設定されていて、サスペンド／リジューム機能を使用する場合、リジューム時に、下図のようなシステムパスワード入力の PopUp アイコンが表示されます。この間に、システムパスワードを入力してください。1分間経過するか3回パスワードを誤ると、再度サスペンドします。パスワード待ちの間、電源スイッチは働きません。
●サスペンド／リジューム処理中は、フラットパッド、マウスを動かさないでください。動かすと、リジュームした後、フラットパッドやマウスが動作しなくなります。
●フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブの動作中は、絶対に、コンピューターの電源スイッチを押さないでください。


パスワード入力中


パスワード入力OK

＜サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能使用上の注意＞

●マウス、モデム、その他のシリアルデバイスは、サスペンド／リジューム後、システムに認識されないことがあります。そのようなときには、デバイスを初期化し直してください。

● PC カードなど周辺装置が本機に接続されている場合、サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能はこれらの周辺装置では使えません。
また、PCカードをセットしたままサスペンド状態に入ると、サスペンド中の消費電力が増えることがあります。

●サスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能は、以下のアプリケーションプログラム動作中には使用できないことがあります。
Windows95/Windows3.1 や MS-DOS 以外の OS
Diag（自己診断）プログラム

●通信ソフト動作中はサスペンド／リジューム機能およびハイバーネーション機能は使用しないでください。エラーが発生します。

●オーディオの録音または再生中は、サスペンド状態およびハイバーネーション状態にしないでください。実行ファイルとデータが壊れる可能性があります。

＜サスペンド／リジューム機能使用上の注意＞

●リセットスイッチを押すと、サスペンド／リジューム機能によって保存されていたデータは失われます。

＜ハイバーネーション機能使用上の注意＞

●ハイバーネーション機能を使用するためには、内蔵ハードディスク上に、メモリーデータ書き出し用に一定の空き領域が必要です。領域は、SETUP プログラムでハイバーネーション機能を設定すると、実装メモリーの大きさに合わせて自動的に確保されます。圧縮された領域には、確保できません。

●メモリーを増設したときやハードディスクをフォーマットしたときには、必ず、SETUP プログラムを起動し、「省電力設定」の「パワースイッチ」の項目でハイバーネーション機能を再設定してください。

参考

サスペンド／リジューム機能を有効に設定している場合に、電源を切ったときの状態を「サスペンド状態」、次に電源を入れたときに元の状態に戻ることを「リジュームする」と言います。

<オートサスペンド／ハイバーネーション機能とは>

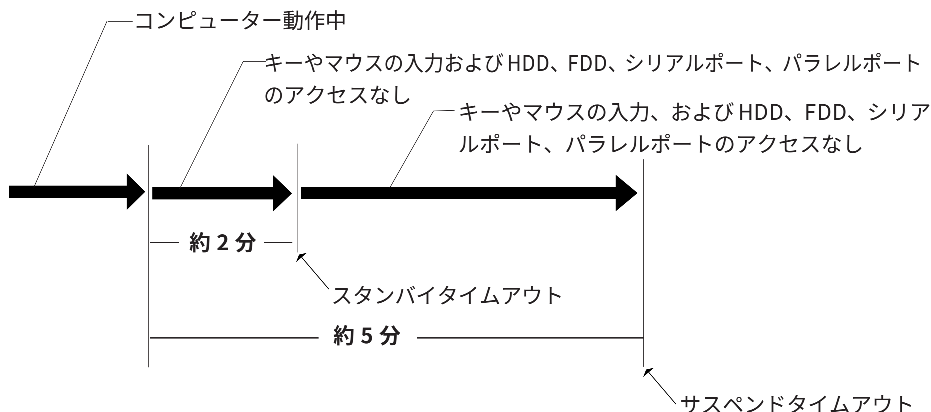
一定時間、キーやフラットパッド、マウスの入力およびHDD、FDD、シリアルポート、パラレルポートのアクセスがないと、自動的に電源を切る機能です。
オートサスペンド／ハイバーネーション機能を設定するには、SETUPプログラムを起動し、「省電力設定」の項目で「パワースイッチ」を「サスペンド」または「ハイバーネーション」に設定し、「サスペンドタイムアウト」で時間を設定します。

> **参考**
> 動作がオートサスペンド／ハイバーネーション機能によって中断された場合、再度電源スイッチを入れると、元の画面が復元されます。

<スタンバイ機能とは>

一定時間、キーやフラットパッドの入力およびHDD、FDD、シリアルポート、パラレルポートのアクセスがないと、ハードディスクドライブモーターを止めて、LCD、バックライトを消します。スタンバイタイムアウトとサスペンドタイムアウトの両方が設定されている場合は、スタンバイ状態に入った後、サスペンド状態またはハイバーネーション状態になります。
スタンバイ機能を設定するには、SETUP プログラムを起動し、「省電力」設定の項目で「スタンバイタイムアウト」の項目を設定します。

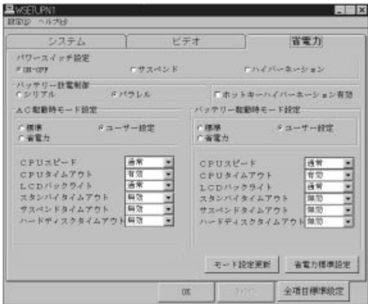
例）　スタンバイタイムアウト：約２分
　　　サスペンドタイムアウト：約５分



[Fn] キーを押しながら [F10] キーを押すと、コンピューターがスタンバイ状態になります。キーボード（[Fn] キーを除く）、フラットパッド／マウスポートの入力があった場合または電源スイッチを押した場合には、再び LCD とバックライトの電源が入ります。

＜省電力設定＞

バッテリーパックを長時間使用するための省電力機能と、コンピューターの操作を中断するときに便利なサスペンド／リジューム機能やハイバーネーション機能の設定方法を以下に説明します。
SETUP プログラムで［省電力］タブをクリックすると、以下の画面が表示されます。



パワースイッチ設定

「ON-OFF」、「サスペンド」、「ハイバーネーション」のいずれかを選択します。「ON-OFF」を選択すると、電源スイッチのON/OFF時にサスペンド機能もハイバーネーション機能も働きません。「サスペンド」を選択するとサスペンド／リジューム機能が有効になります。「ハイバーネーション」を選択するとハイバーネーション機能が有効になります。標準設定は、「サスペンド」です。

バッテリー放電制御

バッテリーの放電方法を選択します。「シリアル」を選択するとバッテリーA→Bの順に放電を行います。「パラレル」を選択すると、バッテリー A, B 同時に放電を行います。標準設定は、「パラレル」です。

ホットキーハイバーネーション制御設定

ホットキーハイバーネーション機能を有効にするかどうかを設定します。チェックボックスをチェックすると、「パワースイッチの設定」が、「ON-OFF」、「サスペンド」でも、［Fn］キーを押しながら［F7］キーを押してはなすと、ハイバーネーション機能が働きます。標準設定はチェックボックスオフ（無効）です。「パワースイッチの設定」で「ハイバーネーション」を選択すると、このチェックボックスは、自動的にオン（有効）に設定されます。

AC 駆動時モード設定

ACアダプターを接続して使用する場合のパワーマネジメント機能の選択を行います。
「標準」、「省電力」、「ユーザー設定」から選択します。「標準」、「省電力」を選択したときの、パワーマネジメント各設定項目は下記の表のように設定されます。
「ユーザー設定」を選択した場合、パワーマネジメント各設定項目は、下記の表のようにおのおの、選択肢のなかから、選択することができます。
標準設定は、「標準」です。

	標準	省電力	ユーザー設定
CPU スピード	通常	省電力	通常／省電力
CPU タイムアウト	無効	有効	無効／有効
LCD バックライト	通常	省電力	通常／省電力
スタンバイタイムアウト	30 分	2 分	1, 2, 5, 10, 15, 30, 無効
サスペンドタイムアウト	無効	10 分	1, 2, 5, 10, 15, 30, 無効
ハードディスクタイムアウト	無効	2 分	1, 2, 5, 10, 15, 30, 無効

バッテリー駆動時モード設定

バッテリーで使用する場合のパワーマネジメント機能の選択を行います。「標準」、「省電力」、「ユーザー設定」から選択します。「標準」、「省電力」を選択したときの、パワーマネジメント各設定項目は下記の表のように設定されます。
「ユーザー設定」を選択した場合、パワーマネジメント各設定項目は、下記の表のようにおのおの、選択肢のなかから、選択することができます。
標準設定は、「省電力」です。

	標準	省電力	ユーザー設定
CPU スピード	通常	省電力	通常／省電力
CPU タイムアウト	無効	有効	無効／有効
LCD バックライト	通常	省電力	通常／省電力
スタンバイタイムアウト	30 分	2 分	1, 2, 5, 10, 15, 30, 無効
サスペンドタイムアウト	無効	10 分	1, 2, 5, 10, 15, 30, 無効
ハードディスクタイムアウト	無効	2 分	1, 2, 5, 10, 15, 30, 無効

CPU スピード設定

「省電力」に設定した場合、常に節電のために CPU の速度を下げます。
「通常」は、通常のスピード、「省電力」は低速になります。
ただし、下記の状態においては設定状態にかかわらず「省電力」となります

- セット内部が高温のとき
- バッテリー残量が低い（BATT インジケータ赤点灯、2 本挿入時 2 本共赤点灯）とき

CPU タイムアウト

キーやマウスの入力待ちのような場合、節電のためにCPUの動作を停止させます。
「有効」、「無効」から選択します。
Windows を使用しているときは、より効率的な節電方法が行われるため、この設定は無視されます。

LCD バックライト

LCDバックライトの明るさを選択します。「通常」で、通常の明るさ、「省電力」で暗くなります。

スタンバイタイムアウト

スタンバイ機能を働かせるまでの時間を設定します。

サスペンドタイムアウト

自動的に、サスペンドまたは、ハイバーネーション機能を働かせるまでの時間を設定します。

ハードディスクタイムアウト

ハードディスクドライブアクセスが一定時間ない場合、ドライブモーターを自動的に停止させるまでの時間を設定します。

画面の解像度と色数

画面の解像度と色数は下表の○印をサポートしています。
○ - 表示可能　　× - 表示不可能（Fn + F3 で切り換わりません。また Windows 起動時にエラーが発生します。）

	外部モニター	内部 LCD	同時表示
640 × 480　16 色	○	○	○　＊3
640 × 480　256 色	○	○	○　＊3
640 × 480　32K 色　＊1	○	○	○　＊3
640 × 480　64K 色　＊1	○	○	○　＊3
640 × 480　16M 色　＊2	○	×	×
800 × 600　16 色	○	○	○
800 × 600　256 色	○	○	○
800 × 600　32K 色　＊1	○	○	○
800 × 600　64K 色　＊1	○	○	○
1024 × 768　16 色	○	○	○　＊4
1024 × 768　256 色	○	○	○　＊4

＊1　Windows 95 の場合は、High Color という表現になります。
＊2　Windows 95 の場合は、True Color という表現になります。
＊3　640 × 480 の内部 LCD 又は同時表示は、画面の中央に小さく表示されます。
＊4　1024 × 768 の同時表示は、画面全体の一部（800 × 600）が表示されます。

メモリーの扱い方

メモリーの種類

本機は、以下の様なメモリー構成になっています。

メモリーマップ

基本メモリー	00000H
ビデオRAM	A0000H
ビデオBIOS	C0000H
	C9FFFH
メインBIOS	F0000H
拡張メモリー	100000H

■基本メモリー

最初の640KバイトのRAMは、基本メモリーと呼ばれます。MS-DOSが使用されているとき、アプリケーションプログラムは、通常基本メモリーで動きます。

■拡張メモリー

最初の1Mバイトより上位のメモリー領域は、拡張メモリーと呼ばれています。このメモリー領域は、80286以上のCPUでしか動かないOSやアプリケーションプログラムを動かすために使用されます。この領域で動く主なプログラムに、OS/2やWindowsがあります。

使用可能なメモリー容量

使用可能なメモリー容量は、増設RAMの容量によって異なります。
本機で増設できるRAMモジュールは、8Mバイトと16Mバイトの2種類です。どちらか1枚を増設できます。

実装済み	RAMモジュールスロット	拡張メモリー
16Mバイト	―――	15360Kバイト
	8Mバイト	23552Kバイト
	16Mバイト	31744Kバイト

困ったときに開くページ

本機を動かそうとして、思ったとおりに動かないことがあります。おかしいな？と思ったら、このページを読んでください。また、ソフトウェアによる原因も考えられますので、Windowsやアプリケーションソフトなど各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。どうしても原因がわからないときは、お買い上げになった販売店または当社ご相談窓口にご相談ください。

起動時の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作できない	●本体のACアダプターは、本体の電源コネクターおよび電源コンセントに差し込まれていますか？ ●十分充電されたバッテリーパックが正しく入っていますか？ ●本体裏面のリセットスイッチを押して、本機を再起動させたあと正常に動作しませんか？ ● SETUPプログラムで「起動ドライブシーケンス」を「HDDのみ」に設定されていませんか？ この時は、FDDからのシステムの起動はできません。 又、HDDの内容が破壊されていることも考えられます。 外付けフロッピーディスクドライブにシステムディスクを挿入して、電源を再度入れなおして再起動し、画面にメモリーカウントが表示されたら「F5」キーを押してFDDからシステムを起動してHDDの内容を確認してください。
ディスプレイの画面に何も表示されない	●省電力機能によって、自動的にディスプレイが消えることがあります。いずれかのキーを押すと、元に戻ります。 ● SETUPプログラムで外部モニターが選ばれていませんか？ 外部モニターに設定された状態で、サスペンド／ハイバーネーションを行った後、外部モニターを取り外して、リジュームを行っていませんか？ この時は「Fn」キーを押しながら「F3」キーを押してみてくだい。
画面上の日付／時刻の表示が違っている	●コントロールパネルを使って、正しい日付／時刻を設定してください。 ●日付／時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）が切れかかっているおそれがあります。 お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
システムパスワードを忘れてしまった	●お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

操作中の問題

こんなときは	ここをお調べください
操作中に本機が動かなくなった	●バッテリーパックを使って操作していたときは、バッテリーが切れたおそれがあります。ACアダプターを接続してください。 ●使っていたアプリケーションソフト上の問題でシステムが止まってしまった可能性があります。そのソフトウェアの使用を中止し、リセットスイッチを押し本機を再起動してください。
バッテリーインジケーターが赤く点灯している	●バッテリー残量がありません。ACアダプターを接続してください。 ●ACアダプターが正しく接続されていない可能性があります。正しく接続し直してください。
バッテリーインジケーターが赤く点滅している	●バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。正しく装着し直してください。 ●それでも赤く点滅するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。
使用中に「ピー・ピー」と音が鳴り始めた	●バッテリーが切れかかっています。ACアダプターを接続してください。
充電中にバッテリーインジケータが消灯している	●ACアダプターとバッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。ACアダプターとバッテリーパックを取り外し再度正しく装着し直してください。 ●それでも消灯するようであれば、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

ディスプレイ画面の問題

こんなときは	ここをお調べください
ディスプレイ画面が消えた	●省電力機能によって、スタンバイ状態になることがあります。スタンバイ状態では、いずれかのキーを押すと、元に戻ります。
残像が現れる	●イメージが画面に残ると、画面に焼きつき、残像となることがあります。これは、異常ではありません。別の画面が現れてしばらくたつと、残像は消えます。
画面に緑、赤、青のドットが残る	●これらのドットが残るのは、カラー液晶ディスプレイの特質です。故障ではありません。

ドライブの問題

こんなときは	ここをお調べください
フロッピーディスクドライブにアクセスしない	●外付けフロッピーディスクドライブが正しく接続されていますか？ ●フロッピーディスクは正しくセットされていますか？ ●フロッピーディスクは初期化されていますか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
フロッピーディスクが初期化できない	●コマンドを正しく入力しましたか？　また、コマンドパラメーターに誤りはありませんか？ ●ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていませんか？
ハードディスクドライブにアクセスしない	●ハードディスクを正しく準備していますか？ ●原因がわからない場合は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。

周辺機器の問題

こんなときは	ここをお調べください
プリンターが動かない	●ケーブルが本体・プリンター間で正しく接続されていますか？ ●プリンターの電源は入っていますか？ ●プリンターがオンライン状態になっていますか？ ● SETUP プログラムで、「アドレス（パラレルポート）：」を「378」、「278」または「3BC」に設定してください。
マウスが使えない	●マウスケーブルが本体に正しく差し込まれていますか？ ●マウスのデバイスドライバープログラムがロードされ、動いていますか？ 詳しくは、お使いのアプリケーション、またはマウスのプログラムのマニュアルを参照してください。 ●マウスがシリアルポートに接続されている場合は、SETUPプログラムで「マウス」の設定を「シリアルマウス」に選択してください。その後、「シリアルポート」を「3F8 (IRQ4)」か「2F8 (IRQ3)」に設定してください。 ● PS/2 マウスが外部キーボード／マウスポートに接続されている場合は、SETUP プログラムで「マウス」の設定を「フラットパッド／ PS2 マウス」に選択してください。
フラットパッドが使えない	●マウスのデバイスドライバープログラムがロードされ、動いていますか？ 詳しくは、お使いのアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。 ● SETUP プログラムのマウスの設定が「フラットパッド／ PS2 マウス」になっていますか？
フラットパッドの動作がおかしい	●パッド面に指を 5 秒間静止させて置き、感度を校正してください。

<table>
<tr><th>こんなときは</th><th>ここをお調べください</th></tr>
<tr><td>PC カードが使えない</td><td>
●カードは正しくセットされていますか？
●当社指定以外のカードを使用していませんか？
●適切なドライバープログラムがインストールされていますか？
● PC カードが使用している I/O アドレス、IRQ ナンバー、チャンネルを確認し、設定し直してください。

〈I/O アドレス〉
以下のアドレスをさけて設定し直してください。
I/O : 000H-00FFH (システムボード)
x1F0H-x1F7H (ハードディスクドライブ)
x220H-x22FH (サウンド) *4
x230H-x23FH (サウンド) *4
x278H-x27FH (パラレルポート) *2
x2F8H-x2FFH (赤外線通信ポート) *1
x378H-x37FH (パラレルポート) *2
x388H-x389H (FM) *4
x398H-x399H (FM) *4
x3B0H-x3BBH (VGA)
x3BCH-x3BFH (パラレルポート) *2
x3C0H-x3DFH (VGA)
x3E0H-x3E1H (PC カードコントローラー)
x3F0H-x3F7H (フロッピーディスクコントローラー)
x3F8H-x3FFH (シリアルポート) *3

アドレスの頭の“ x ”は、アドレスライン（A15-A10）の値に関係なくそのアドレスが使えないことを意味します。

*1 赤外線通信 (IrDA) ポートアドレスは、SETUP プログラムで 2F8H、3F8H、OFF のいずれかに設定できます。
*2 パラレルポートアドレスは、SETUP プログラムで 278H, 378H, 3BCH, OFF のいずれかに設定できます。
*3 シリアルポートアドレスは、SETUP プログラムで 3F8H, 2F8H, OFF のいずれかに設定できます。
*4 サウンドポートアドレス は、SETUP プログラムで 220H（328H : FM）, 230H（398H : FM）, OFF のいずれかに設定できます。

〈IRQ ナンバー〉
以下のいずれかに設定してください。
IRQ： 3*1，4*2，7*3，9，10，11，15
*1 IRQ3 は、通常、COM2（赤外線通信ポート）が使用しています。
*2 IRQ4 は、通常、COM1（シリアルポート）が使用しています。
*3 IRQ7 は、通常、プリンターに使用されます。

PC カードで、IRQ3 または IRQ4 を使用するときは、SETUP プログラムでシリアルポートまたは赤外線通信 (IrDA) ポートを「無効」にしてください。
</td></tr>
</table>

自己診断プログラム

DIAG プログラム

DIAGプログラムを使うと、本機各部の動作のテストをすることができます。テストしたい項目は、診断メニューから選択します。

1. フロッピーディスクドライブに「保存ディスク」をセットし、本機を起動する。

2. MS-DOS のプロンプト（A：＼）に続けて、以下のように入力する。

DIAG [Enter]

3. 結果を印刷するかどうかの確認画面が表示されるので、印刷する場合は[Y]キー、印刷しない場合は [N] キーを押す。

```
        DIAGNOSTIC MENU  ( V*.* L**)

         1. TEST ALL DEVICES (■ DEVICES)
         2. TEST AUTOMATICALLY (■ DEVICES)
         3. CHANGE MENU
         4. EXIT
■        5. MAIN BOARD
■        6. ***KB RANDOM ACCESS MEMORY
■        7. KEYBOARD
         8. FLAT PAD
■        9. VIDEO
■       10. 1 HARD DISK DRIVE (S)
■       11. 1 FLOPPY DISK DRIVE (S)*
        12. 1 PARALLEL PORT (S)**
■       13. 2 SERIAL PORT (S)**
        14. SOUND

SELECT MENU : 1
```

注）＊　フロッピーディスクドライブがセットされていない場合、11の項目は表示されません。

＊＊ SETUP の設定によっては 12、13 の項目が表示されません。

4. カーソルキー（[↑]、[↓]）でテストしたい項目にカーソルを合わせて [Enter] キーを押すか、テストしたい項目の番号を入力して [Enter] キーを押す。

自己診断テスト（キーボード以外）を中止する場合は、[Ctrl] キーを押しながら [Pause] キーを押してください。

◆キーボードの操作

キー	結果
Esc	前画面に戻ります。
↑ ↓	カーソルを上下に移動し項目を変更します。
Enter	テストを始めます。
Ctrl + P	プリンターへ出力するかしないかを切り替えます。
Ctrl + Pause Break	実行中の診断プログラムを停止します。(キーボードテストは停止できません。)

◆主なテスト内容

DIAG の主なテスト内容や注意点について説明します。
(一部の項目の説明は省略しています。)

テスト項目	内容と注意
TEST ALL DEVICES	すべての項目範囲から ■ の付いた項目を選択し、テストします。
TEST AUTOMATICALLY	■ の付いた、すべての項目を自動的にテストします。
CHANGE MENU	"TEST ALL DEVICES" と "TEST AUTOMATICALLY" でテストする項目（■ 印）を選択することができます。項目にカーソルを移動させ［Enter］キーを押すと ■ 印を付けたり、消したりできます。
EXIT	自己診断プログラムを終了し、コンピューターを再起動します。
MAIN BOARD	各種集積回路のテストを行います。 キーボードからは何も入力しないでください。
***KB RANDOM ACCESS MEMORY	基本メモリーと拡張メモリーをテストします。
1 HARD DISK DRIVE（S） 1 FLOPPY DISK DRIVE（S）	それぞれディスクのデータの書き込み、読み出しを行います。 ハードディスクのバックアップを取っておいてください。 消去可能なフロッピーディスクを使用してください。
1 PARALLEL PORT（S） 2 SERIAL PORT（S）	［EXTERNAL LOOPBACK TEST］では、外部接続コネクターに接続された回線との応答テストを行います。 パラレルポートとシリアルポートにコネクターを接続した状態で行ってください。
Sound	FM 音源での再生をテストします。

BIOS が表示するエラーコード一覧

BIOSのエラーが発生した場合は、起動時に以下のようなエラーコードが表示されます。[F1] キーを押すと、続行されますので、SETUP コマンドを起動して設定内容を確認した後、システムを再起動してください。
各エラーコードの意味は以下のとおりです。

エラーコード	意味
062	3回以上連続して自己診断プログラム（POST）が中断され、システムボードにデフォルト設定が行われました
101	割り込みコントローラーのエラーです
102	タイマーのエラーです
106	フロッピーディスクドライブかコントローラーのエラーです
151	リアルタイムクロックのエラーです
162	CMOS の設定が誤っています
163	日付・時刻が設定されていません
164	CMOS メモリーサイズが誤っています
201	メモリーのデータエラーです
301	キーボードのエラーです
303	キーボードとシステムボードのインターフェースエラーです
1780	ハードディスク 0 のテストに失敗しました
2400	システムボードのビデオエラーです
8601	マウスインターフェースのエラーです
8603	マウスかシステムボードのエラーです
I9990301	ハードディスクのエラーです
I9990305	OS がみつかりませんでした
その他のエラーコード	自己診断プログラムがエラーを発見しました

さくいん

◆ま行◆

◆や行◆

◆ら行◆